

小中一貫教育推進だより



平成 25 年 2 月 21 日 No. 22

十日町市教育委員会学校教育課



「今日よりすばらしい明日を夢みて」

学校教育課小中一貫教育推進係  
嘱託指導主事 平野久美

「雪の国のきものの町で 今日よりすばらしい明日を夢みて 今日に限りない感謝をささげ 今日を人々のために 働けることを念じてやまない」旧十日町市の市民憲章です。春立ったとはいえ、まだまだ「雪の国」を実感するこの頃です。

十日町市が大雪に見舞われた1月17・18日、私は京都市で行われた小中一貫教育全国サミットに参加しました。両日とも、京都には珍しく雪が舞う寒い日でした。

京都市は、学制発布に先駆け、明治2年に京都の町衆たちの手により、当時の住民自治組織であった「番組（町組）」を単位として、64の番組小学校（ばんぐみしょうがっこう）が創設された地だそうです。平成23年から実施している市の基本計画の施策の1つが、全中学校ブロックにおける小中一貫教育です。地域の声から小中一貫校が実現する等、この地には「地域の子どもは地域で育てる」という先人から受け継がれた伝統が息づいており、それが小中一貫教育の取組にも生かされていることを感じました。ここでの研修で印象に残ったことをいくつか紹介します。

まず1つ目。国の法整備等の動きが現実化し、小中一貫教育の取組が益々全国的に広がっていくだろうと感じたことです。文部科学省初等中等教育局布村幸彦局長の基調講演の中で、「小中一貫教育に係る教育課程の基準の特例を、学校設置者の判断で導入可能とする」、「専科担任制度に関し、道徳及び特別活動については学校種を問わず指導を可能とする」ための関係省令等の改正・制定を準備しているという話がありました。

2つ目。京都産業大学教授西川信廣氏の「乗り入れ授業や行事への小中学生参加等の取組は、『交流に始まり、イベントに終わる。』といった実態が多くある。大事なことは、小中の一貫性のある教育。同じ方向を見て教師としての指導力を高めることが大切である。それを進めていけば、おのずと家庭や地域が学校をサポートしてくれる。」という言葉が印象的でした。千葉大学天笠茂教授も「全国的には連携型が一番多いのが現実。実態を良く理解し、その強みや弱みを生かしながら策を立てることが大切である。例えば、連携型は交流をするには距離が長い。だから、交流を多くするのではなく、指導者の思いの共有が大切。」といった内容の話をされました。ほとんどが連携型である当市が特に大切にしていかなければならないことだと感じました。

3つ目。分科会での呉市阿賀中学校区の発表。以前は、バイクの轟音が頻繁に鳴り響くほどの生徒指導上に問題があった地域でしたが、生活習慣、学習習慣、授業で子どもにつけるべき重点的な力とそのための方策を工夫して取り組んで効果を上げていました。明確な目標と方策が、何とかしたいという職員の意識に火を点けたと感じました。中学校区職員一人一人が自分は何をしたらいいのかが分かる仕組づくりを大切にしていくなることが必要だと改めて痛感しました。

今日よりすばらしい明日を夢みて、ここでの学びを小中一貫教育の推進に生かしていきたいと胸に刻んだ2日間でした。



## < こんな連携も進んでいます !! >

養護教諭や事務職員、栄養職員の方々は、小学校でも中学校でも勤務できます。小中の文化の違いを実感しながら、この文化間の橋渡し役を担う大きな力となっています。

今回は、小中一貫教育の取組組織に財務部会を位置付けている川西中学校区の取組について江口財務部会主任から紹介していただきます。

しゅっちゅう一貫

耳より情報

### 小中一貫教育の中の財務部 ～学校事務職員の関わり方～

川西中学校 主任 江口伸子

平成 22 年度末に、小中一貫教育のモデル中学校区に指定された川西地区の組織図を考えていますと、知・徳・体（川西の場合は徳の部分で「心」としてしています）を軸にした一貫教育推進組織案が提示されました。

学校事務職員は、平成 20 年から「学校事務の共同実施」として、週 1 回地域の小・中学校で集まって事務処理を行っています。この形態を活用すれば、新たに組織を立ち上げなくとも、スムーズに連携をすることが可能ではないかと考えていました。どんな事業を行うにしても、必ず「お金」に関わることが出てきます。その業務は誰がどのように行えばいいだろうか。各学校の事務職員が、財務の担当者として「小中一貫教育」に関わることはできないか。そんな話をしていたこともあり、川西地区では小中一貫教育推進部会に「財務部会」も加わりました。

「小中一貫教育」で、事務職員が直接的に児童・生徒を教育する場面はありません。しかし、授業や事業を行うためには必ず人やお金が動きます。そのサポートを行うのが財務部会です。平成 23 年度は、「ふれあい音楽教室」の会計事務を担当しました。日常的には、共同実施を活用し情報交換を行っています。使用時期が重ならない物品の貸し借りも増えてきています。

学校事務職員は、（養護教諭・栄養職員と同じく）小学校・中学校どちらにも勤務することが可能です。子どもたちが小学校と中学校で違うと感じることを、自分自身でも体験している職員でもあります。小と中の連携が必要な部分を、「財務」の面からばかりでなく、見つけることもできるのではないのでしょうか。

現在、財務部会の独自事業はありません。「小学校」と「中学校」で手続きが同じだったらどうだろう？地域のことなど同じ情報を持っていたら改善できることがあるかな？そんなところから「小中一貫」「小小連携・小中連携」をサポートしていきたいと考えています。

### < 開いてみませんか !! >

教育系ネットワークの「学校間共通」→「小中一貫教育」で進むと各モデル中学校区のフォルダがあります。このフォルダを開いてみたことがありますか。まだの人は是非開いてみてください。ここには各モデル中学校区が試行中に取り組んだ、様々なお役立ち情報がたくさん入っています。



## モデル中学校区3月の活動予定



毎月ここに掲載している各モデル中学校区の活動予定は、どなたでもその活動を見ていただけるように紹介しているものです。モデル中学校区では、毎月公開授業や公開活動をしています。今月は紹介内容が少ないですが、年間を通じて、時間を見つけて、ぜひお出掛けください。その際には、当該学校へ一声掛けてからお出掛けください。

日時	<内容>	会場	見どころ
4日(月)	<乗り入れ授業> 10:40~11:25	橘小学校	・中学校職員が、小学校で、小学6年生に数学の授業を実施します。
5日(火)	<乗り入れ授業> 10:40~11:25	上野小学校	・中学校職員が、小学校で、小学6年生に音楽の授業を実施します。
6日(水)	<推進部会> 15:30~16:45	川西中学校	・小中一貫教育の推進について、今年度の反省をもとに来年度の計画の立案をします。
6日(水)	<推進会議> 15:00~16:30	下条小学校	・第3回の今回は、小中一貫教育の推進について、3学期の事業内容の成果を確認し、来年度の方向について意見交換を行います。
12日(火)	<体験入学> 8:20~13:40	下条中学校	・小学6年生が、中学校に朝から登校し、下校まで中学校の時間帯で過ごし、授業、清掃、給食、部活動を体験します。
12日(火)	<合同授業> 5限 14:00~14:45 6限 14:55~16:40	川西中学校	・中学校区の全小学6年生が、中学校で、2クラスに分かれて5、6限に保健体育と英語の授業を体験します。
13日(水)	<乗り入れ授業> 10:40~11:25	千手小学校	・中学校職員が、小学校で、小学6年生に算数の授業を実施します。
18日(月)	<合同職員会議> 15:00~16:30	下条中学校	・小・中学校の職員が一堂に会し、3学期の事業の評価、小中一貫教育の大綱や年間行事予定等、次年度の計画について話し合います。

